

ビデオカメラ機能付きの携帯電話を使って佐賀総体をインターネット中継するボランティア「チームU」が十六日、発足した。市民リポーターが競技会場に乗り込み、一人一役運動に携わる高校生や試合後の選手ら取材。その模様をライブ中継する。

県が進める試合の動画配信と異なり、チームU



携帯で動画リポート

競技場から感動や涙を ボランティア団体が発足

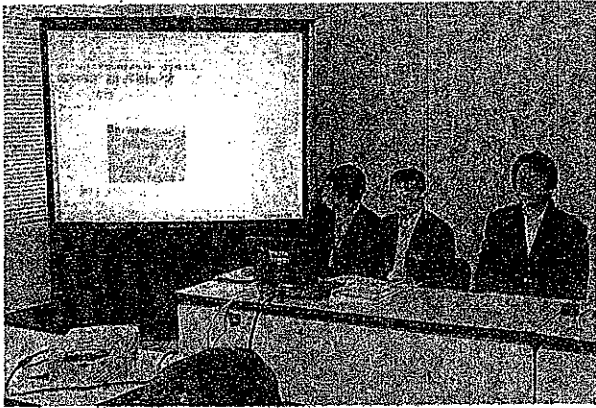
が取材するのは総体にかかわる人たち。「市民の目線で感動の汗や涙、思いを伝えたい」と語る。視聴者には会場に来ることができない障害者や県外選手の家族、同級生らを想定している。

県が昨年末から開いている地域インターダー育成セミナーの参加者らで企画した。現在、会社員やNPO法人、行政の関係者の四十人が参加。本番までに百人を目指す。障害の有無や年齢、性別にかかわらず、メンバーを募集していく。

メンバーが携帯電話で動画を撮影し、ホームページ

を立ち上げ発信。システムづくりには、障害者スポーツを中継して成果を上げているNPO法人STAND(石川県)が、メンバーに入り全面支援する。

メンバーは「大会期間中は毎日、放送する。ITで総体の新たな歴史を始め、地域活性化につなげたい」と意気込む。問い合わせは県情報・業務改革課内事務局、江頭隆幸さん。電話0952(25)7085。(栗林)



ビデオカメラ付き携帯電話で佐賀総体を生中継するボランティア「チームU」が発足。県庁内でデモンストレーションを実施した